

新就任のごあいさつ(新任部長紹介)



加藤真介

(かとう しんすけ)

リハビリテーション部
部長

- 1959年(昭和34年)生まれ
- 1988年(昭和63年)徳島大学大学院医学研究科博士課程修了
- 2012年(平成24年)11月 就任

専門分野 ●リハビリテーション医学 ●整形外科 ●脊椎脊髄外科

リーダーシップを発揮し
徳島県全体のリハビリテーションの質を高めたい

リハビリテーション部では、チーム医療として医師・看護師・療法士が患者さんとコミュニケーションを図り、多面的な治療につなげています。また、診療科の医師とも十分に相談しながら、治療方針を決定しています。医師は、大勢の演奏家をまとめる指揮者のようにチーム内・外をコーディネートする重要な役割を担っているのです。

日頃から、患者さんと直接関わっている看護師や療法士の意見をよく聞くように心がけています。何気ないことでも意見が言い合えるようなチームになりたいですね。

今まで徳島県では、リハビリテーションの分野で教育や研究の核となる病院や施設がありませんでした。今後は本院が、その核となる役割を果たしていきたいですね。県内の病院や医療施設と連携を取ることでお互いの治療の質を高めたいです。同様に研究の分野でも、新たな研究の発展につなげればと思っています。

将来必要となる専門医の数は今の約2倍(4000人)の人数になるという予測もあります。優秀な人材育成にも力を入れて取り組んでいきたいです。

患者の皆様へ

徳島の地で優れた医療人を育てるために

「学生実習」

徳島大学蔵本キャンパスには、医学科、栄養学科、看護学、放射線技術科学、検査技術科学、歯学科、口腔保健学科、薬学部など、多くの医療職を育成する教育機関が集約しており、このような教育環境は全国的にも世界的にも非常に特徴のあるものです。将来、安心・安全で高度な医療を提供できる優れた医療人になるために、最近では、学生は講義室で学ぶだけでなく、診療現場で実践的に学習することが不可欠となりました。学生は診療現場で実習を行うために必要な準備学習を受講し、さらに定められた技能試験にパスしたうえで臨床実習を行っています。徳島大学病院では、常時200名以上の学生が臨床実習を行っており、外来、病棟、検査室など様々な場面で、担当医や指導教員から患者の皆様へ実習へのご協力をお願いする機会が増えています。知識、技能、態度の3つがそろった未来の優れた医療人を徳島から育てるために、患者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。